

平成30年7月28日（土）に、北条農村環境改善センターで小学校から高校までのP T Aを対象とした中部地区人権教育懇談会を開催しました。その内容を紹介します。



施策説明「豊かな人権文化を築く学校づくり事業」について

鳥取県教育委員会事務局人権教育課 社会教育担当係長 寺谷孝志 氏

本事業は平成30年度から2年間の予定で実施する。学校・家庭・地域が連携して、魅力ある学校づくりにつながる取組を支援していく。

■学校への支援

○県内小・中学校3校程度を指定し、「人権教育プログラム（学校教育編）」を活用した学習支援 やいじめなどの人権学習の工夫改善などの研究・取組を支援する。

○保護者に対し、いじめ防止につながる取組の理解促進を図る。

■家庭・地域への支援

○「人権教育プログラム（社会教育編）」を活用したP T A研修会を実施する。

○P T A研修会にファシリテーターを派遣する。



人権教育プログラム体験「子どもの気持ちに向き合う上で大切にしたいこと

～いじめをさせない子どもを育てる2つの自信～

ファシリテーター 人権教育プログラム作成委員

1 アイスブレイク

・わが子が好きな食べ物を紹介しながら、自己紹介し、心をほぐす。

2 子どもの気持ちにかかわる体験の交流する。

・学習発表会の劇でなりたいたい役になれなくて、落ち込んで帰ってきた。

・楽しみにしていた野球観戦が雨のために中止になり、その場で泣き崩れた。

3 グループ内で出された体験談などからみんなで考えたいことを決め、他のグループに意見をもらったり、対応策を考えてもらったりする。

・放っておくのではなく、子どもの話を聞き、思いを受け止める。

・代替策を提示し、気持ちを切り替えさせる。

・不安な気持ちを軽くするために、ハグをしながら声を掛ける。

4 他のグループのワークシートを見て回り、「なるほど！」と思う意見にシールを貼る。

5 まとめ（ファシリテータ）

・いじめをしない子どもを育てるには、家庭の中での自信と学校や社会の中で成す自信を育むことが大切である。

・あるがままの子どもの姿を親が受け止めることで子どもは安心感をもつ。



参加者からたくさんの
意見が出ましたよ。



【参加者の感想より】

○自己紹介では、多少の緊張がありましたが、話が進むにつれ活発に意見が出て、表情も緩み、話ができるようになりました。いろいろな人の意見が聞けて有意義でした。

○人権教育プログラムをとおして改めて親子の関係性の大切さを考える機会となりました。親としての役目を果たし、子どもが一人で悩むことなく、何でも言い合える親子関係を築いていけたらと思いました。

○いろいろな意見や思いが聞けてとても勉強になりました。家庭でも試してみようと思うものもあり、参加できて良かったです。



【お知らせ】

これまでに作成された人権教育プログラムは、県HPにアップされています。御活用ください。

「地域と共に創るとっとり人権教育事業で開発した人権教育プログラム綴（社会教育編）」

<http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/964276/program.pdf>

（平成27年度版）

<http://www.pref.tottori.lg.jp/secure/964276/puroguramu.pdf>

（平成28年度版）

<https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1112231/H29.pdf>

（平成29年度版）